

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け		2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開		
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7	スポーツ普及事業の開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。	不特定多数の人が集まるイベントだったため、新型コロナウイルス感染を防止しながら実施するのは困難のため、中止となりました。	継続	第6回目まで開催しており、イベントとして定着しているため、市民の認知度も上がってきている。市民のニーズを把握して、各種事業を改善しながら、継続事業とする。
2-1	ビーチスポーツ普及事業の開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用を提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を実施します。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で実施できませんでしたが、収束した際には引き続き、相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後ともビーチスポーツに接する機会の提供と普及に努めていきます。
2-2	ビーチスポーツ普及事業の開催	スポーツ課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用を提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を開催します。	例年は名義後援の申請があるが、令和2年度は申請がなかった。	例年、名義後援での間接的な支援を行っていたため、申請がなかったことから、対応できなかった。	継続	補助金交付による支援は28年度で終了となっている。今後、大会の開催にあたり、人的、物的支援等を検討しながら継続する。
3	運動体験教室	健康課	腹囲マイナス教室、糖尿病予防教室	生活習慣病予防のために、運動の実践を通して生活習慣の改善を図り、運動習慣を身につける。	腹囲マイナス教室6日間2クール(延12回)開催、参加者延116人 糖尿病予防教室3日間2クール(延6回)開催、参加者延46人	腹囲マイナス教室は、運動指針が理解できた者96%、運動習慣の改善を認めた者94.4%。糖尿病予防教室は、効果的な運動について理解できた者100%であった。教室を通じて、運動を習慣化する必要性の動機づけ、改善につなげることができた。	事業縮小	糖尿病予防教室は、内容を見直(運動を講話のみとする)し、3日間2クールから、半日1回に変更。
4	健康づくり推進事業	健康課	健康づくり推進事業	市民の健康づくり運動を推進するための事業や活動を実施する。	健康ウォーキング7回開催、延参加者数304人 くすのき体操講習会14回開催、延参加者数246人 体力チェック1回実施、延参加者数18人 運動・休養の教室5回開催、延参加者数167人	健康推進員活動は、運動の習慣化を目指し継続参加が可能ため多くの市民が参加し、運動習慣を定着させる機会となっている。 健康推進員は、協議会として積極的に研修を実施し、地域からの依頼を受けて自主活動も活発に行っている。	継続	前年度に引き続き、健康推進員の育成及び活動支援を行い、地域での健康づくりの輪を広げていく。
5	健康推進員養成講座	健康課	健康推進員養成講座	市民が健康づくりの重要性を理解し、自主的に活動するために必要な知識・技術を学習する。	養成講座全8回開催。参加延人数30名	「自分たちの健康は自分でつくり、守る」という地域での健康づくり活動の動機づけを広く行うことができた。養成講座受講生全員が健康推進員連絡協議会に入会した。	継続	前年度に引き続き、健康推進員を養成し、地域での健康づくりの輪を広げていく。
6	健康推進員育成講座	健康課	健康推進員スキルアップ!講座	健康推進員が地域において健康づくり活動のリーダー的な役割を担い、地域において活動を推進することを目的とする。	スキルアップ講座全4回開催。参加延人数28名	日頃の健康づくり活動を安全かつ効果的に行うために必要な知識・技術を参加者が習得できた。	継続	前年度に引き続き、健康推進員の活動において、地域で安全にウォーキングや体操、体力測定を実施していくための知識・技術の向上を行っていく。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
7	日常的運動習慣への啓発事業の開催	スポーツ課	ウォーキングイベント	多くの市民が参加しやすいスポーツイベントを提供するために、「楽しむこと」を重要視して、結果的に「スポーツをすること」に繋がるウォーキングイベントを検討します。	コロナ禍の状況を踏まえ、気軽にスタートできるスポーツイベントの検討とともに、スポーツ情報の提供などを行った。	コロナ禍により、日常的な運動習慣を維持することが難しい状況下において、スポーツナビを通じた情報提供や既存のイベントの見直しなども含めていかに運動につなげることができるかの検討を行った。	継続	新型コロナの影響により既存のスポーツをする機会が提供できていないことを踏まえ、ウォーキングイベントを始め、気軽に参加できるイベントについて引き続き検討する。
8	地域健康づくり活動支援プログラム	健康課	地域健康づくり活動推進プログラム	地域の健康づくりを目的として活動しているグループに対し、教育を実施し、健康づくりに関する知識や技術の向上を図ることを目的とする。	高齢者の地域支援を地域包括ケア推進課でも実施し重複している。そのため、事業自体を見直し、重複している部分については令和元年度で廃止し、重複していない部分は地域健康づくり支援事業に統合した。		廃止	高齢者の地域支援を地域包括ケア推進課でも実施し重複している。そのため、事業自体を見直し、重複している部分については令和元年度で廃止し、重複していない部分は地域健康づくり支援事業に統合した。
9	地域健康づくり支援事業	健康課	地域健康づくり支援事業	市民団体及びグループ等からの依頼に応じて、健康教育・健康相談等を実施し、健康づくりの知識・技術の向上を図る。	新型コロナワクチン感染拡大の予防のため、地域の団体で活動を自粛しており、依頼がなかった。		継続	前年度に引き続き、より多くの市民に健康づくりの知識・技術を普及し、自身の健康を考えるきっかけを増やしていく。
10	公民館における自主事業等	中央公民館	公民館における自主事業等	スポーツに親しむ機会を市民に提供するため、公民館主催の児童・生徒地域参加事業、家庭教育学級、シニア学級、自主事業等を実施します。	合計 33事業 延べ1262人 内訳 児童・生徒地域参加事業 2事業 延べ60人 家庭教育学級 2事業 延べ50人 シニア学級 15事業 延べ372人 自主事業 14事業 延べ780人	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、規模を縮小して実施した。	継続	感染症対策を講じながら、学びを継続する。
11	市民総合体育大会・各種スポーツ大会	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明らかな心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。夏季の開催時期を関係団体等と調整し、11月の開催時期へと変更することとした。	関係団体と調整し、参加選手を始めとするすべての関係者の安心安全を確保しての大会実施は非常に難しいと判断した。一方、例年の夏季の実施は、熱中症アラートの本格稼働と合わせて時期をずらす必要性が高まったことを受け、関係団体等と十分協議を重ね、時期を11月に変更することができた。	継続	スポーツをする機会の提供として、継続して実施していく。
12	市民体育レクリエーション地区大会	中央公民館	市民体育レクリエーション地区大会	地域住民相互の親善と交流を深め、明るい地域づくりの推進を図るとともに、スポーツ、レクリエーション活動の向上と健康の増進を図るため、各地区で市民体育レクリエーション地区大会を実施します。	全て中止(新型コロナウイルス感染症まん延防止のため)	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、全て中止した。	継続	開催要項・ガイドラインに従い、感染症対策を講じながら実施する。
13	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室(子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	市民が生涯にわたりスポーツに親しむために、スポーツ教室を開催し、健康増進への機会の提供及びスポーツに対する参加意識を高める。	35のスポーツ教室を実施 参加者3,219人 (子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した教室もあったため、前年よりも参加者数は減少したが、感染症対策をしながら教室を開催したことで、健康増進への機会の提供することができた。	継続	スポーツを親しみ、健康増進への機会を提供するために、今後も継続する。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
14	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	手話ダンスによる健康づくり事業	手話を取り入れたエンターテインメントグループの「HANDSIGN」と連携し、子どもから高齢者、障がい者が健康で、いつまでもいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指し、運動・スポーツ活動のきっかけづくりとするため、手話ダンスを活用した事業を実施します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。	大人数の児童が体育館に集まることが想定されたため、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止となりました。	継続	小学校等での公演を通して、手話やダンスに興味を持ってもらえる機会を提供し、手話ダンスの普及啓発を図る。
15	スポーツボランティアの活用	スポーツ課	スポーツボランティア活動事業	スポーツボランティア活動の機会を提供するため、市が開催するスポーツ大会などにスポーツボランティアを活用します。	新型コロナウイルスの影響から、スポーツ課主催事業はすべて中止となり、事業実施に係るボランティアの募集は行わなかった。	今年度、事業の中止に伴いボランティアの活用機会はなかった。また、コロナ禍においてボランティアを活用する場合は安心安全確保の観点から十分な対策と合わせて慎重に判断する必要があると考える。	継続	コロナ禍の今後の収束状況を踏まえつつ、引き続きスポーツを支える視点から、各種スポーツイベントにおけるボランティアの活用を進める。
16	ミニミニ運動会	保育課	ミニミニ運動会	子育て中の親子が楽しめるふれあいの場を提供するため実施している。親子で一緒にできる運動や自然物を使ったの制作を楽しんでいる。	令和2年度は実施予定の4回とも新型コロナウイルス感染予防対策のため中止。	令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため4回全て中止となったが、子育て情報誌や配信動画を作成、配信し、ふれあい遊びや体操、エプロンシアター、パネルシアター等スマホやパソコンから見て親子で楽しめるようにした。	継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため実施できなかったが、例年多数の参加者がありニーズは高いと考えている。
17	親子で遊ぼうフェスティバル	保育課	親子で遊ぼうフェスティバル	未就学児の子どもとその保護者を対象として、親子の交流・ふれあいを深めるため、親子で一緒に体操やふれあい遊びを行うイベントを実施。	令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止。	令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止となったが、市ウエブで、おうちでも親子で楽しめる動画「おうちでミニミニ運動会」の案内をした。	継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため実施できなかったが、例年多数の参加者がありニーズは高いと考えている。
18	計画訪問	教育指導課	幼稚園・こども園・小中学校訪問	指導力の向上を図るため、授業研究を通して、教育指導のあり方や実施上の諸課題などについて研究協議する。	令和2年度はコロナウイルス感染症のため中止とした。	授業公開及び研究協議により、指導力の向上を図る機会がもてなかった。	継続	教員の指導力向上のために、今後も継続していく。
19	中学校部活動研究推進協議会	教育指導課	中学校部活動推進事業	部活動の諸課題を解決するため、中学校部活動研究推進協議会において、具体的取り組みについて研究の実践を行う。	令和2年度はコロナウイルス感染症のため書面開催。今後の部活動のあり方について「外部人材の活用」や「学校と地域が協働・融合した部活動の実現方策」について検討した。	今後の部活動のあり方について成果と課題について把握し、今後の検討資料とすることができた。	継続	部活動の活動内容に充実のために、今後も継続していく。
20	中学校部活動指導者派遣事業	教育指導課	中学校部活動地域指導者派遣事業	中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じて専門的資質を有する地域指導者を、運動部及び文化部顧問の指導協力者として派遣する。あわせて地域指導者に対する講習会を実施する。	地域指導者派遣期間は令和2年4月1日から令和3年2月28日。延べ97人の地域指導者が総計2,382単位時間活動した。	学校の顧問不足や放課後の会議等で指導時間の確保ができない顧問が多い中、生徒の意識の向上、より高い技術指導の提供等の面で大変有効であった。	継続	生徒の意欲向上さらには高い技術指導の提供のために、今後も継続していく。
21	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	教育指導課	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・関東中学校体育大会及びこれに準ずる大会・コンクール等に出場する中学生を激励する。また、激励金を交付し活動を支援する。	令和2年度は全国大会が中止、関東大会は駅伝競走のみ開催されたが出場者がいなかったため支給しなかった。	大会に出場する生徒がいなかったため、激励金について、大会参加時の支度金としての活用がなかった。	継続	全国・関東大会に出場する選手を激励するために継続していく。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
22	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	平塚市体育協会	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	運動能力の優れた児童及びその保護者を対象に、専門知識や多様なスポーツトレーニング体験の機会を提供し、競技技術の向上を資するため研修会を開催する。	東京オリンピック・パラリンピック開催により、東海大学から選手派遣及び施設の提供ができない旨の申し出があり、中止となった。	令和元年度の時点で令和2年度の交流事業を実施しないことは決定していた。	終了	花巻市から当事業の予算が確保できない旨の申し出があり、令和3年度以降も交流事業を実施しないことになった。
23	少年少女スポーツ大会	スポーツ課	少年少女スポーツ大会	スポーツを通じて青少年の健全育成を図り、授業以外での運動習慣をつける機会を提供するため、野球、水泳、剣道、マラソン大会を実施します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。	関係団体等と調整し、参加選手を始めとするすべての関係者の安心安全を確保しての大会実施は非常に難しいと判断した。	継続	スポーツをするきっかけづくりや日頃の練習の成果を発揮する大会として目標になっていることから、参加しやすい工夫をするなどして、今後も継続していく。
24	小学校プール開放事業	スポーツ課	小学校プール開放事業	児童の心身の健全な育成と体力の向上を図るため、夏季休業中の小学校のプールを開放する。	令和2年度 中止	学校のプール授業が新型コロナウイルス感染防止のため中止となったことに伴い、本事業も中止になった。	継続	今後も継続していく方向だが、プール開放のあり方も同時に検討する。
25	市民総合体育大会・各種スポーツ大会(再掲)	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。	関係団体等と調整し、参加選手を始めとするすべての関係者の安心安全を確保しての大会実施は非常に難しいと判断した。	継続	スポーツをする機会の提供として、スポーツに関係する情報の提供と合わせて、継続して実施していく。
26	子どもを対象としたスポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	子どもを対象としたスポーツ教室	子どもたちにスポーツの楽しさと素晴らしさを知ってもらうため、子どもを対象としたスポーツ教室を実施する。	3つのスポーツ教室を実施 参加者計122人 内訳 ジュニアフラダンス教室: 2クール 24回 計20人 ジュニア新体操教室: 1クール 20回 計22人 テニススクール(ジュニアコース): 3クール 26回 計80人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した教室もあったため、前年よりも参加者数は減少したが、感染症対策をしながら教室を開催したことで、子どもたちにスポーツを楽しむ機会を提供することができた。	継続	スポーツを楽しむ機会を提供するために、今後も継続する。
27	フレイル対策推進事業	地域包括ケア推進課	フレイルチェック測定会	高齢者の身体状態を把握し、介護予防のための運動へのきっかけづくりとなる「フレイルチェック」を実施します。	フレイルチェック測定会 4回実施、参加者数延べ28人	コロナ禍であっても感染防止対策を徹底しながらフレイルチェック測定会を開催し、コロナ禍における高齢者のフレイル予防を図ることができた。	継続	引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、次年度は、地域に向く「巡回型フレイルチェック測定会」と市役所等で実施する「拠点型フレイルチェック測定会」を合わせて年12回程度実施予定。
28	地域介護予防活動支援事業	地域包括ケア推進課	通いの場サロンの支援	地域で住民主体に運動等の介護予防活動を開催する高齢者の通いの場(サロン)や新規に開催を希望する通いの場(サロン)への支援を行います。	実施団体数 119団体 開催回数 延べ 9592回 参加人数 延べ 87673人	団体数が増加した一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による活動の自粛等から、開催回数、参加人数は前年度より減少した。その様な中、非接触型体温計の配布やアンケート結果を活用した市内通いの場の活動状況等の共有など、安全な活動再開に向けた支援を各団体に行うことができた。	継続	新規に通いの場を希望する団体には通いの場事業の趣旨説明を行うための説明会等を実施予定。通いの場各団体には、通いの場の活動の支援を引き続き行うとともに、新型コロナウイルス感染症に関する国の通知や感染防止対策の情報提供を併せて行う予定。
29	ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	スポーツを楽しむことを通じて高齢者の生きがいの高揚を図るとともに社会との連帯感を養成し、もって高齢者福祉の向上を図るため、ゲートボール競争等気軽に楽しめる種目のあるスポーツ大会を実施します。	新型コロナウイルス感染症の感染防止の為、中止。	中止となったため、高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進が図れなかった。	継続	スポーツをするきっかけづくりのため、競技種目を検討し継続する。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
30	ゆめクラブ湘南平塚グラウンドゴルフ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	競技を通し友好と連帯を深めつつ、お互いに生きがいと健康の保持増進に役立て、高齢者の福祉の発展に寄与するため、グラウンドゴルフ大会を実施します。なお、湘南ブロック老連予選会を兼ねます。	平塚市老人クラブ第9回グラウンドゴルフ大会 参加者数:138人(前年度参加者数:203人) 湘南ブロックグラウンドゴルフ大会 新型コロナウイルス感染症の感染防止の為、中止。	市のグラウンドゴルフ大会は前年よりも規模は参加者は少なかったが開催できたものの、湘南ブロックの大会は中止となったため、前年に比べて高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進が図れなかった。	継続	高齢者の健康保持に加え、湘南ブロック老連ニュースポーツ交流のつどいグラウンドゴルフ大会の予選会を兼ねているため、継続する。
31	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、各種障がいスポーツ大会への参加を支援します。	(申込者数)アーチェリー3人 ボウリング6人 フライングディスク26人 陸上競技(身体)13人 陸上競技(知的)15人 卓球4人 水泳1人 ボッチャ3人 新型コロナウイルス感染症の影響で大会はすべて中止	参加者の健康維持の他、スポーツを通じて障がい者同士や健常者相互の交流を広げ、深めるため、スポーツ大会への参加申込を支援した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で大会はすべて開催されなかった。	継続	スポーツを通じた、障がい者の余暇活動の充実を図ることで、より多くの社会参加の機会提供が進み、本人の生活力向上や健康維持に繋がるため継続して行う。
32	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	スポーツ課	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとするために開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。	感染防止対策を講じての大会開催は、参加や運営にあたり様々な制約を課すこととなり、「誰もが気軽にスポーツを楽しむこと」とする大会趣旨を満たすことが困難であることから、実行委員会で協議の結果、中止とした。	継続	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりするために有効な事業のため、引き続き継続していく。
33-1 33-2	地区体育振興事業	平塚市体育振興連絡協議会 スポーツ課	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即応したスポーツ行事を開催します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大幅に事業数を削減して実施。実績は、25事業(1,170名)	各地区における様々なスポーツ事業を通じ、地域のスポーツ活動の促進が目的の事業であるが、今年度は新型コロナの影響から例年通りのスポーツ事業が実施できなかった。	継続	地区体育振興会は各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るために、当団体へ委託し、事業を継続していく。
34	スポーツ普及員の認定	スポーツ課	スポーツ普及員の認定について	地域でスポーツの普及を担う人材を確保するため、スポーツ普及員の創設に向けた検討を行います。	現在の地域におけるスポーツ普及振興の状況を踏まえ、スポーツ普及員の役割及び認定制度について検討した。	本市の特性として、地域におけるスポーツの普及振興を地区の体育振興会やスポーツ推進委員に担っていただいております。スポーツ普及員認定制度の趣旨から、当該制度の導入による効果は低いものと判断する。	継続	今後もスポーツ行政と関係団体との連携を強化しながら、認定制度の趣旨等を参考に、本市の特性を生かしながら地域で実践する個人を讃え、励みとなるような効果的な取り組みについて検討を継続する。
35	市民活動団体などとの協働	スポーツ課	市民活動団体などとの協働事業	行政が抱える課題や地域課題を解決するため、市民活動団体と行政が協働して事業を実施します。	平成26年度からスポーツに関する2事業を実施 市内スポーツ情報ポータルサイト構築運営事業 小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施した。	市民活動団体と行政がお互いのノウハウを活かしながらそれぞれの事業に着手し、事業展開が図られている。	継続	市民団体(藤沢シニアネット)、平塚市まちづくり財団と協働して運用事業を継続して実施していく 小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業については、大学交流事業として、小学校1校で月2回継続して実施していく。
36-1 36-2	スポーツ推進委員研修会	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、スポーツ推進委員協議会が委員に向けた研修会を開催。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。	月1回程度の役員会にて研修会の開催について都度協議を行ったが、施設の利用制限や感染拡大防止の観点から、年5回予定していた研修会は全て開催を見送ることとした。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
37-1 37-2	県スポーツ推進委員研修会などへの派遣	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、県スポーツ推進委員連合会や西湘ブロックなどの研修会に委員を派遣します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた全国・県・西湘ブロック等の研修会は全て中止となった。	各研修会・研究大会については、例年本部役員を中止に技術や資質の向上を目的として参加しているところだが、本年度は感染拡大防止を講じても感染リスクをゼロにすることは難しく交流を含めた研修の目的を達成することが難しく中止となった。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。
38	総合型地域スポーツクラブの相談窓口の設置	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	総合型地域スポーツクラブの新設や運営等の相談・支援を行うため、相談窓口を設置します。	市内創設済みクラブは3団体、相談窓口は担当職員を配置することで設置済み。令和2年度中に設立を目指していた団体があり、現状の確認・相談に応じていたが、新型コロナウイルスの影響で設立には至らなかった。	令和2年度中に神奈川県担当者同行する形で、設立を目指す団体の活動を視察・実態調査に行く予だったが、新型コロナウイルスの影響で事業を実施できないことから実現しなかった。	継続	県の所管課や各種関係団体のパイプ役として、身近な相談窓口として必要なため、継続して実施する。
39-1 39-2	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学 スポーツ課	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	スポーツ教室として「平塚市中学校陸上競技教室」「平塚市中学生バスケットボール教室」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	実施にあたり、感染防止対策を講じても感染リスクをゼロにすることは難しく、仮に実施する場合でも、コロナ感染対策として参加者数及び当日の活動内容を制限することになり、本事業の目的である市民と大学との交流を十分に図ることができないことから中止とした。	事業拡大	令和3年度以降は、「平塚市中学校陸上競技教室」「平塚市中学生バスケットボール教室」「水泳教室」を加えた3教室を同日に開催するスポーツフェスタを実施する。
40-1	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	東海大学	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	ロードレース大会及びバスケットボール教室として「平塚市中学生バスケットボール教室」「卓球教室」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	実施にあたり、感染防止対策を講じても感染リスクをゼロにすることは難しく、仮に実施する場合でも、コロナ感染対策として参加者数及び当日の活動内容を制限することになり、本事業の目的である市民と大学との交流を十分に図ることができないことから中止とした。	事業拡大	令和3年度以降は、「平塚市中学生バスケットボール教室」に「平塚市中学校陸上競技教室」「水泳教室」を加えた3教室を同日に開催するスポーツフェスタを実施する。なお、「卓球教室」は令和2年度をもって終了とする。
40-2	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	神奈川大学	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	スポーツ教室として「サッカー教室」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	実施にあたり、感染防止対策を講じても感染リスクをゼロにすることは難しく、仮に実施する場合でも、コロナ感染対策として参加者数及び当日の活動内容を制限することになり、本事業の目的である市民と大学との交流を十分に図ることができないことから中止とした。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
40-3	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツ課	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	ロードレース大会及びバスケットボール教室として「卓球教室」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	実施にあたり、感染防止対策を講じても感染リスクをゼロにすることは難しく、仮に実施する場合でも、コロナ感染対策として参加者数及び当日の活動内容を制限することになり、本事業の目的である市民と大学との交流を十分に図ることができないことから中止とした。	事業縮小	事業規模縮小により、「卓球教室」「ロードレース大会」は令和2年度をもって終了。ただし「少年少女マラソン大会」を平塚市民・大学スポーツ交流事業として実施する。
41-1 41-2	東海大学との協働による小中学校体育施設個人開放事業	東海大学 スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるように開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。みずほ小学校 年2回	新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、実施回数を削減した。	継続	大学交流事業としてバラスーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。また、事業実施の際には感染症対策を徹底し、市民の健康促進等の場を提供していく。
42-1 42-2	競技力強化事業	平塚市体育協会 スポーツ課	競技力強化委託事業	国体選手の養成、本市体育協会関係選手の強化育成を図るため、平塚市体育協会に競技力強化事業として委託します。	新型コロナウイルスの影響で、平塚市体育協会加盟団体の多くの事業が実施できず、加盟団体27団体のうち、12団体から委託料の返金があった。	種目ごとにガイドラインが策定されており、そのガイドラインを満たして上で事業を実施することは非常に困難であったと思われる。しかし、新型コロナウイルスの影響は今後も続くことが想定されるため、令和2年度に蓄積した経験を令和3年度に活かしてもらうことを期待したい。	継続	全国大会等へ、多くの出場選手を輩出していることから、今後も継続する。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
43-1 43-2	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会などへの選手派遣	平塚市体育協会 スポーツ課	選手派遣事業	駅伝大会を通じて市町村相互の交流や、競技力の向上を図るとともに、健康、明朗な心身の育成を図るため、かながわ駅伝に選手を派遣します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。	駅伝大会を通じて、市町村間の交流や世代を超えての交流等を通して、競技力の向上を図る機会となるはずだったが、中止となってしまった。	継続	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村間の交流や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることができるため、継続して実施する。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
44-1 44-2	スポーツ優秀選手表彰	平塚市体育協会 スポーツ課	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツへの興味関心を高めるとともにスポーツの競技会において優秀な成績を収めた選手等の栄誉をたたえるため、スポーツ優秀選手として表彰します。 平塚市スポーツ優秀選手表彰規定	令和2年度平塚市スポーツ優秀選手 個人 2名 団体 1団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。 令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった大会が多く、受賞対象者も減少した。	継続	本市スポーツの振興に寄与すると判断し、継続事業とする。
44-3	スポーツ優秀選手表彰	平塚市まちづくり財団	スポーツ優秀選手表彰	スポーツの大会等に出場し、優秀な成績を収めた選手等を讃えるため、スポーツ優秀選手として表彰する。	スポーツ優秀選手の表彰 個人 15人 (団体はなし)	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	スポーツ優秀選手として表彰対象者にとっての活力となるよう、今後も継続する。
45	体育功労者表彰	スポーツ課	体育功労者表彰	地域または職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、体育の振興に顕著な成果をあげた体育関係者及び社会体育団体を讃えるため、体育功労者として表彰します。	令和2年度神奈川県及び平塚市体育功労者 神奈川県体育功労者 1名 平塚市体育功労者 7名	スポーツの普及発展に貢献し、本市体育・スポーツの振興に寄与した。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、また、関係者の競技力の向上やきっかけづくりとなるため、今後も継続する。
46-1 46-2	支援金の交付	平塚市まちづくり財団 平塚市体育協会	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を継続できるよう、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等に支援金を交付する。 また、全国大会出場者に記念品を贈呈する。	全国大会等出場者への支援 計20件 内訳 国際大会:0件 全国大会:17件(個人17件) 関東大会:1件(団体1件) 全国大会出場者への記念品贈呈:0件	スポーツ優秀選手等がスポーツ活動を継続することに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があると考えため、今後も継続する。
47	会場使用料の援助	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を継続できるよう、市内スポーツ団体が主催する一般市民を対象としたスポーツ大会の会場使用料を援助する。	会場使用料援助 2件 (少年野球連盟、水泳協会)	市内スポーツ団体が継続してスポーツ大会を開催できることに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があると考えため、今後も継続する。
48-1 48-2	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会 スポーツ課	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会の自主的な活動を推進するため、法人化に向けた支援を行います。	法人化に向け、団体との協議は行っていない。	法人化に向けた市への支援要請はなく、団体の現行の運営体制、過去の検討状況等を考慮すると現状において法人化に向けた具体的な検討を行う段階ではないと判断する。	継続	法人化に係る検討については、団体からの要請を踏まえて対応する。近隣市町の情報収集や法人化の手法等の研究は、引き続き進めることとする。
49-1 49-2	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室	湘南ベルマーレ スポーツ課	小学校体育巡回、幼稚園、保育園巡回教室補助事業	湘南ベルマーレの指導者がサッカーの楽しさを伝えとともに、協調性などの人間力向上を図るため、小学校巡回授業や幼稚園・保育園巡回教室の実施に対し補助金を交付します。	小学校8校 計508名 幼稚園・保育園8園 計337名 小学校については、10校教室を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言などにより日程調整済みであったが中止となった。	湘南ベルマーレのコーチによる、サッカーやボールを用いた運動の指導を受けることにより、スポーツへの興味・関心を持ち、団体活動・集団活動を通じて礼儀や協調性などの人間性向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
50-1 50-2	平塚市トレーニングセンターへの指導者派遣	湘南ベルマーレ スポーツ課	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	補助金交付を通じて、ジュニアサッカー選手育成のため、優れた指導力を備える湘南ベルマーレの指導者を平塚市トレーニングセンターに派遣します。	中学生 0名 小学生 82名 延べ612名 中学生について、新型コロナウイルスの影響で活動回数の減少した中で、コーチの派遣はなかった。	Jリーガーの輩出実績とともに、選手同士の交流や指導を受けた選手が各チームの模範選手となるなど、市内育成年代のサッカー競技力向上や人間性の向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
51-1 51-2	サッカースクール	湘南ベルマーレスポーツ課	未就園児親子運動教室 親子サッカー教室 レディースサッカー教室	未就園児や幼稚園児とその保護者及び女性が身体を動かすことの楽しさ、大切さを実感する。また、スポーツの振興を図るとともに施設利用を拡充するため、サッカー教室やスポーツ教室を実施します。	令和2年度新型コロナウイルス感染症予防対策のため前期は中止し、後期は未就園児親子サッカー教室親子サッカー教室についてはオンライン、レディースサッカー教室については動画配信による実施となった。 実施回数8回、参加申込5組、延べ16組参加 実施回数8回、参加申込1組、延べ6組参加 動画公開数2回(ドリブル編、キック編) 延べ視聴回数323回	新型コロナウイルス感染症予防対策のため制限がある中でオンラインや動画配信による実施となった。	継続	コロナウイルスが蔓延している現在の状況ではオンラインや動画配信を行い密を避けたりソーシャルディスタンスを保ちながら事業を行うため。
52-1 52-2	小学生無料招待事業(ドリームパスポート)	湘南ベルマーレ総合公園課	ドリームパスポート事業	プロという質の高いスポーツに触れる機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しめるまちを推進するため、総合公園で行われるプロスポーツ(湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)の試合に、市内在住小学生を無料招待します。	パスポート利用者数 延べ586人	ドリームパスポートを通じてスポーツへの興味や関心を高めるとともに、スポーツを楽しめるまちの推進に寄与した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためプロスポーツ団体の観客数を減少して開催した。	継続	小学生が無料でプロの試合を観戦できるこの取り組みは、平塚市独自のものであり、スポーツを楽しめるまちとして、小学生のスポーツへの興味・関心をさらに高めるために今後も継続する。
53	サイクルイベントの実施	事業課	令和2年度は施設貸し出しのイベント希望なし、事業課主催でのイベント実施無し。	地域住民の健康づくりを「自転車」をキーワードに様々な視点から提案や施設の貸し出しを行う。	貸し出しの希望なし、主催イベントの実施無し。	新型コロナウイルス感染症対策のため、場内のイベント開催中止となった。	廃止	施設の貸し出しでは、希望する団体があるかどうかは毎年不確定であり、計画への位置づけにそぐわない。 主催イベントについても、様々なイベントを実施しており、毎年自転車に関するイベントを実施することは予定されていないので、計画への位置づけはそぐわない。
54	平塚市スポーツ指導者制度の運営	スポーツ課	平塚市スポーツ指導者制度運用事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点から及びスポーツ水準の向上を図るため、スポーツ指導者登録制度を運用します。	令和2年度スポーツ指導者に1名の登録があった。	平塚市スポーツ指導者が6名となった。	継続	指導者としての登録者数の増加や、指導を希望する者が効果的に利用できるよう制度の充実に努める。なお、各公民館で行っている「人材登録制度(知恵袋バンク)」や県の生涯学習情報システム(プラネットかながわ)の活用方法なども調整を図る。
55-1 55-2 55-3	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市スポーツクラブ連合 スポーツ課	令和2年度平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	「ケガ予防から競技力向上へ-他と差をつけるストレッチ講座」 令和3年2月14日(日)に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	本事業実施前に新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が神奈川県に発令されたことにより、中止となった。	継続	受講者の多くが小中学生を指導している指導者のため、その点に留意し、講習内容・講師を十分に検討しながら継続する。
56	平塚市体育協会指導者講習会	平塚市体育協会	平塚市体育協会指導者講習会	平塚市民の生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、指導者の養成並びに、選手の競技力向上を図る推進体制を確立する。	令和2年度実績 第1回「スポーツ指導者の役割について」参加者36名 第2回として「AED講習会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しなかった。	平塚市体育協会加盟指導者の知識、技術のスキルアップに寄与した。	継続	指導者にとっての指導力の向上に繋がるので、今後も継続する。
57-1	トップスポーツの試合の招致・開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	トップレベルのビーチスポーツに触れる機会を提供し、普及促進を図るため、ビーチスポーツの全国大会等を誘致します。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で実施できませんでしたが、収束した際には引き続き、相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後とも質の高いレベルのビーチスポーツに接する機会の提供に努めていきます。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
57-2	トップスポーツの試合の招致・開催	総合公園課	スポーツ大会招致	質の高いスポーツ観戦の場を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しめる街を推進するため、総合公園において、プロスポーツのほかさまざまな種目のトップレベルの大会を開催します。	Wリーグ(日本女子バスケットボールリーグ)、Tリーグ等	Wリーグ開催と共にバスケットボール全日本選手権が開催され、平塚でのバスケットボール振興が定着している。陸上競技では毎年全日本クラスの選手で話題が多くある大会を開催地として競技団体から評価をうけている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が多数開催が出来なかった。	継続	小学生が無料でプロの試合を観戦できるこの取り組みは、平塚市独自のものであり、スポーツを楽しめるまちとして、小学生のスポーツへの興味・関心をさらに高めるために今後も継続する。
58	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	スポーツ課	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	市民のスポーツへの興味・関心を高めるため、広く市民が観覧できる全国規模のスポーツ大会などを開催する団体を支援します。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。	新型コロナの影響から大会が中止となり、支援することができなかった。	継続	市民へのスポーツを観る機会の創出のため、今後も継続して支援していく。また、大会の規模や市民からのニーズにより、支援団体の精査や見直しを併せて実施する。
59-1 59-2 59-3 59-4 59-5 59-6 59-7	トップアスリートを活用したイベントの開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第8回ひらつか市民スポーツフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。	不特定多数の市民に対し、スポーツをする機会を提供することを目的とするイベントであることを踏まえ、新型コロナウイルス感染を防止しながら実施することが困難であると判断し、中止となった。	継続	第6回目まで開催しており、イベントとして定着してきているため、市民の認知度も上がっている。スポーツへの興味関心を高め、きっかけづくりとなる事業であるため、今後も継続する。
60-1 60-2 60-3	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	横浜DeNAベイスターズ 横浜ビー・コルセアーズ 総合公園課	市内小学校選手訪問	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツをすることの楽しさを知ってもらうため、プロスポーツで活躍する選手が市内小学校を訪問し、児童と直接触れ合いながらスポーツの魅力伝えます。	学校訪問の実施が新型コロナウイルス感染症対策のため無実施 DVD(バスケットボール選手)を製作して各学校へ配布 Jリーグ開催時にドリームバスポートデーを開催(市内小学生を対象に催しを開催)	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを観る・することの楽しさを知ってもらう機会を提供できた。	継続	スポーツを楽しめるまちを推進するため、今後も大会の招致や開催を行う。
61-1	トップアスリートを活用した事業の開催	オリパラ推進課	リトアニア共和国パラリンピック委員会からのビデオメッセージ放映	トップアスリートと直に触れ合う機会に替えて、パラスポーツの魅力や東京2020パラリンピック競技大会の機運を高めるため実施した。	107名が参加した共生社会ホストタウンイベントにおいて、リトアニア共和国パラリンピック委員会会長及び陸上選手からのメッセージ動画を放映し、パラリンピアンやパラスポーツへの興味・関心を高めるとともに、理解を深めた。	対面による交流が難しい中、メッセージ動画を放映することで東京2020パラリンピックに向けた機運醸成に繋がった。	継続	新しい生活様式にあった交流事業について、オンラインやSNS等を活用し、心のバリアフリーや多様性を尊重する取組を推進する。
61-2	トップアスリートを活用した事業の開催	オリパラ推進課	ブラサカと考える共生社会 in Hiratsuka	共生社会実現に向けたイベントの中で、ブラインドサッカーチームによるデモンストレーション試合等を実施し、パラアスリートとの交流の機会を創出する。また、パラスポーツ(パラリンピック採用競技)への理解を深め、パラリンピック大会の機運醸成を図るとともに共生社会の促進につなげる。	NPO法人日本ブラインドサッカー協会協力の下、ブラインドサッカーチームによるデモンストレーション試合などを実施した。 107名が観覧した。	アンケートの結果、観覧者の80%以上がイベントに満足し、パラリンピックへの興味が高まったと回答した。	終了	内閣官房オリパラ基本方針推進調査事業として実施したため、今年度限りの事業とする。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
62	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	スポーツ施設の管理・運営	スポーツをする場を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	令和2年度体育施設利用状況 計220,500人 (桃浜町庭球場・軟式庭球場、王御住運動広場、小・中夜間照明施設、大神スポーツ広場、土沢多目的広場、土沢野球場、パークゴルフ場)	スポーツ課管理の体育施設の維持、管理、運営を行い、市民にスポーツする場を提供し、市民のスポーツをする機会に貢献した。緊急事態宣言の発令を受け、所管施設すべてが利用中止となった期間があった。	継続	市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため、スポーツ施設を効率的に維持・管理・運営を継続していく。
63-1	有料公園施設の運営・管理	みどり公園・水辺課	効率的な施設の運営・管理	スポーツを楽しんでもらう場を提供するため、湘南海岸公園内のフットサルコートの利用貸出を行います。 利用形態：2時間1単位 [市内]900円、[市外]1,800円	屋外専用フットサル場として、市で行っている唯一の施設で安価でフットサル愛好家に提供しています。	フットサル愛好家にフットサルをする場の提供ができました。特に土日祝の利用率が高く、毎週利用者がいます。	継続	利用者にとって安全で快適な利用ができるような運営・管理を継続していきます。
63-2	有料公園施設の運営・管理	総合公園課	効率的な施設の管理・運営	市民がスポーツを「する」「観る」場の提供のため、スポーツ施設を効率的に管理・運営します。	利用者数延べ650,129人 (有料施設利用者)	新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、「する」「観る」場を提供することができた。	継続	利用者が安心して快適に利用できる場所として今後も管理・運営を行う。
64	学校体育施設開放の個人利用の促進	スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 みずほ小学校 年2回	新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、実施回数を削減した。	継続	大学交流事業としてバラスーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。また、事業実施の際には感染症対策を徹底し、市民の健康促進等の場を提供していく。
65-1	指定管理者制度の活用	みどり公園・水辺課	ビーチセンターへの指定管理者の導入	効率的な施設の運営・管理に努めるため、ビーチスポーツ等のノウハウを持つ指定管理者を導入します。	各種ビーチスポーツの大会誘致や体験教室を開催し、施設の活用と普及を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。	継続	今後とも、指定管理者のノウハウを活かした施設の運営・管理に努めていきます。
65-2	指定管理者制度の活用	総合公園課	馬入ふれあい公園指定管理	コストを削減し、効率的な管理運営を行うため、馬入ふれあい公園の管理運営業務について指定管理者制度を導入します。	馬入ふれあい公園指定管理事業者が、施設の運営管理を行った。	管理運営上さまざまな事務改善がなされ、効率的な運営が実施できた。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。
65-3	指定管理者制度の活用	スポーツ課	指定管理者制度の活用	市民サービスの向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者制度を活用します。	桃浜町庭球場・軟式庭球場・大神スポーツ広場及び湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場の管理・運営に努めた。	体育施設の維持、管理、運営を行い、スポーツを楽しむ環境づくりに寄与した。	継続	今後も民間企業のノウハウを活かして効率的な管理運営に努めていく。
66	公民館附属体育館の運営・管理	中央公民館	公民館附属体育館の運営・管理	市民にスポーツの場を提供するため、市内5館の附属体育館の管理・運営を行います。	合計 5305回 延べ80317人 内訳 花水公民館 1407回 延べ22730人 神田公民館 1028回 延べ14697人 金目公民館 879回 延べ10431人 金田公民館 990回 延べ16542人 旭南公民館 1001回 延べ15917人	新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、附属体育館の利用を一時停止し、前年度と同程度の規模で実施した。	継続	利用方法を市民に周知しながら継続する。

令和2年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	左記の判断理由
67	民間スポーツ施設等の情報・実績把握	スポーツ課	小松製作所のグラウンド・テニスコートを地域住民に開放する	小松製作所、平塚市との協定により、民間スポーツ施設の利活用を行い、地域住民へ運動の場を提供するもの。	令和2年度利用者数 グラウンド 259人 テニスコート 268人 合計 527人	1月、5月を除く各月の施設利用状況については、ほぼ埋まっており、利用者からも一定の評価を得ているものと考えているが、新型コロナウイルス感染拡大状況に伴い、施設利用の中止が継続している。	継続	新型コロナウイルス感染状況を鑑み、拡大防止を最優先とした上で引き続き小松製作所との連携を密にして、より利用者に活用してもらえるよう周知していく。
68	スポーツ用具有効活用事業	スポーツ課	各種団体にスポーツ用具の貸出を行う。	ニュースポーツを中心としたスポーツ用具を市民に貸し出すことで、スポーツを気軽に楽しんでもらい、継続してスポーツに取り組んでもらうことができる。	114件の借用を実施した。	ポッチャ、バウンドテニス、ストラックアウトなど、約40種類のバラスポーツやニュースポーツを中心とする用具の貸出を行い、市民のスポーツ活動を側面から支えている。令和2年度は、新型コロナによる外出自粛の影響により、借用実績数は昨年度より減少した。	継続	東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催で、市民のスポーツ活動への関心が高まっており、バラスポーツやニュースポーツの体験機会をより一層提供するため。
69	スポーツに関する情報の提供	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることができるようにするため、協働事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	ポータルサイトの総合設計・テスト 年間訪問者(56,169人)、年間ページビュー(143,754件) スポーツ団体ページの作成(総計152団体) 協働団体との定例会をリモート形式で実施	大きな支障もなく不具合についても迅速に対応し、サイトの運用を行うことができた。ただし、新型コロナウイルスの影響によるスポーツイベントの中止に伴い、記事投稿数が前年度比で約40%に落ち込み、訪問者数、ページビュー数も約半分程度となった。コロナ禍におけるスポーツ関連情報の掲載を新たに実施した。	継続	令和3年度はイベントが徐々に回復傾向にあり、サイトの利用促進について、湘南ふじさわシニアネット(市民団体)、平塚市まちづくり財団と連携して実施していく。また、コロナ禍におけるスポーツ競技の各種ガイドラインや日常の運動不足解消に向けた情報などは今後も引き続き提供する。
70	スポーツに関する情報の提供	平塚市まちづくり財団	スポーツタウンひらつかの発行等	スポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供を図るため、情報誌「スポーツタウンひらつか」や財団のホームページ等により、スポーツの情報を提供する。	スポーツタウンひらつかの発行:年2回発行 4,000部/回 財団ホームページによる教室案内等の情報発信	新型コロナウイルス感染症の影響により、年3回から年2回の発行となったが、スポーツへの興味関心を高め、多くの方のスポーツ教室への参加に繋がっており、健康の保持増進に寄与していると考え。	継続	スポーツ情報の提供はスポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供に繋がるため、今後も継続する。
71	地元メディアの活用	スポーツ課	地元メディアの活用	スポーツに関する情報を広く市民に提供するため、地元メディアを活用します。	新型コロナウイルスの影響でスポーツイベント等を実施できなかったが、スポーツに関連した情報について地元メディアに提供した。	スポーツイベントが中止により、市民へのスポーツに関連した情報提供の機会が少なくなっていることから、少年野球大会に関連した情報の提供など、地元メディアを通じて可能な限りスポーツに関連する情報の提供に努めた。	継続	今後も地元メディアを活用し、効果的に市民に対するスポーツ関連情報の発信に取り組む。